

2025 年 7 月 10 日

小樽商科大学応援団後援会

小西 一郎

2025 年 7 月 6 日(日)第 111 回 小樽商科大学—北海道大学 総合定期戦・対面式が開催されました。商大合宿所では、7 時の起床後、団員が次々に寝部屋から食堂にやって来ました。8 時過ぎ設営隊、女形隊が行動開始、9 時半頃に助っ人の学生が習合、10 時 15 分頃全体打ち合わせが行われました。



気温は 11 時で 28.4 度¹。11 時 10 分、校歌「金鱗踊る」斉唱後、第 111 代商大応援団を先頭にした 40 名程の隊列が商大を出立。陣容は、団長桑野友希、副団長長井真太郎、参謀経森悠生、団旗長兼演舞長花優子、鼓手長佐藤琢斗、新参として久保海音、米永森、青山仰太郎、一條大輝、マネージャー金子愛彩、堀田梓、今妃堯、俵想良柊。学内 OB の 109 代小笠原廉、110 代横本新、大西勇樹が、学内 OB 役として 108 代森田亘佐、109 代松村卓弥、千葉竜馬、110 代板谷瑞生が現役をサポートしました。当会からは、八尾会長、森田晃一、小西一郎、大坂則幸、清友一希、野並義章、谷口貴彦が参加しました。

11 時 47 分小樽駅前で参謀経森悠生を先頭に、団長桑野友希、副団長の長井真太郎が、三役揃い踏みの下駄上げを行いました。片足 20 キロと言われる団長下駄の操りに、観衆から喝采が送られました。

12 時 00 分本隊は、参謀を残して駅前を出発。都通りに入る直前の 12 時 10 分に、小樽は此の日の最高気温である 32.1 度に達しました²。本体は、都通りに入り、12 時 14 分団長と副団長による下駄上げを敢行、12 時 34 分サンモール一番街に到着し、北大の隊列を待ちました。



13時02分、商大参謀経森の開式宣言で対面式が始まりました。

最初は校歌。北大「永遠の幸」続いて商大「金鱗踊る」の斉唱。最後に参謀経森が参謀エールを行います。「馬鹿扇」という巨大な扇子を用い、フレフレ北大・フレフレ商大の順でエールを切りました。

13時15分花束交換が執り行われました。商大の団長の、長い間身動きもしないことへの対策でしょう、北大の花束嬢は商大桑野団長に花束を何度も押し付けます。しかし、団長桑野少しも慌てず、十分に相手を焦らした後で、花束を掴み取り放り投げました。湧き起こる拍手と喝采。対して北大団長大島渉君は、我等が美しき女形畠山純輝君が差し出した花束に三度食らい付いた後、投げ捨てたのでした。

13時20分演舞披露。北大が不知火拳で商大が胡蝶の舞型。北大の3名に対して商大は5名と正に壮観。今年は初めてとなる五角形の陣形を組み、先頭に演舞長花優子、左のトップに新参の米永、右のトップに新参の一線を置き、静かな胡蝶の羽ばたきが、鼓手長佐藤琢斗の太鼓と息を合わせ、一拍子、二拍子そして三三七拍子と続く内に激しさを増し、式典会場に嵐を呼び起こしました。



13時57分北大の挑戦状、続いて14時14分商大の応戦状。サンモール一番街の興奮は、最高潮に達しました。



14時35分一般参加競技として綱引きが行われました。三戦まで纏れ込み、商大の勝利となりました。一般競技に強い商大の伝統は堅持されました。

最後は両校の寮歌交換。14時44分北大「都ぞ弥生」の後、14時52分に商大「若人逍遥の歌」の斉唱。商大副団長の長井真太郎の口上の後、学生、OB、市民が肩を組み逍遥歌を唄いました。団旗長花が中央に進み、フレフレ商大、フレフレ北大の団旗エールを行いました。



14時57分、商大参謀経森の「此れにて終了」のコールにより、式典は大過なく無事終了致しました。式典後、会場中央でストームを行いました。残念歌斉唱の後、学生、OBが肩を組み、木端微塵に打ち破り 勝利の栄冠我にあり 残念か残念か 残念なら又来んせ のストームとなりました。

¹ 小樽(オタル)のアメダス(2025年07月06日)
<https://tenki.jp/past/2025/07/06/amedas/1/2/16091.html>

² 同上